

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY[®]



2024年1月18日 (木)

第63期 (2024年3月期) 第3四半期決算説明会

(2023年4月1日～2023年12月31日)

取締役	管理本部長	川久保	秀樹
	経営企画部	高橋	由美子
		澤田	真緒



将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

第3四半期の状況と通期の見通しについて

第63期（2024年3月期）第3四半期累計損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.12 62期3Q実績		23.12 63期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	29,535		29,754		219	100.7%
売上原価	17,539	59.4%	19,423	65.3%	1,883	110.7%
売上総利益	11,996	40.6%	10,331	34.7%	△ 1,664	86.1%
販売費及び一般管理費	6,932	23.5%	6,844	23.0%	△ 87	98.7%
営業利益	5,064	17.1%	3,487	11.7%	△ 1,577	68.9%
営業外損益	162		100		△ 61	
経常利益	5,226	17.7%	3,587	12.1%	△ 1,638	69.2%
特別損益	△ 0		29		30	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,710	12.6%	2,609	8.8%	△ 1,101	70.3%
E P S	152.97円		107.54円			

増収減益

売上高：増収

- ：プレミアムキットは売上拡大
- ：不織布はガウン製品の価格改定を前年実施し、販売数量は減少
- ：感染防止関連製品は前年の特需の反動減

営業利益：減益

- ：新工場Ⅱ期稼働による償却費や為替影響等による原価率上昇を、値上げや生産性の改善で一部カバー

当期純利益：減益

- 原価：原価率 65.3%(前年比+5.9pt)
(悪化要因)
新工場Ⅱ期稼働に伴う償却費の増加
円安による影響
- (改善要因)
値上げ、生産性の改善
- 販売管理費：営業活動にかかる費用以外の経費節減

第63期（2024年3月期）第3四半期累計 損益計算書

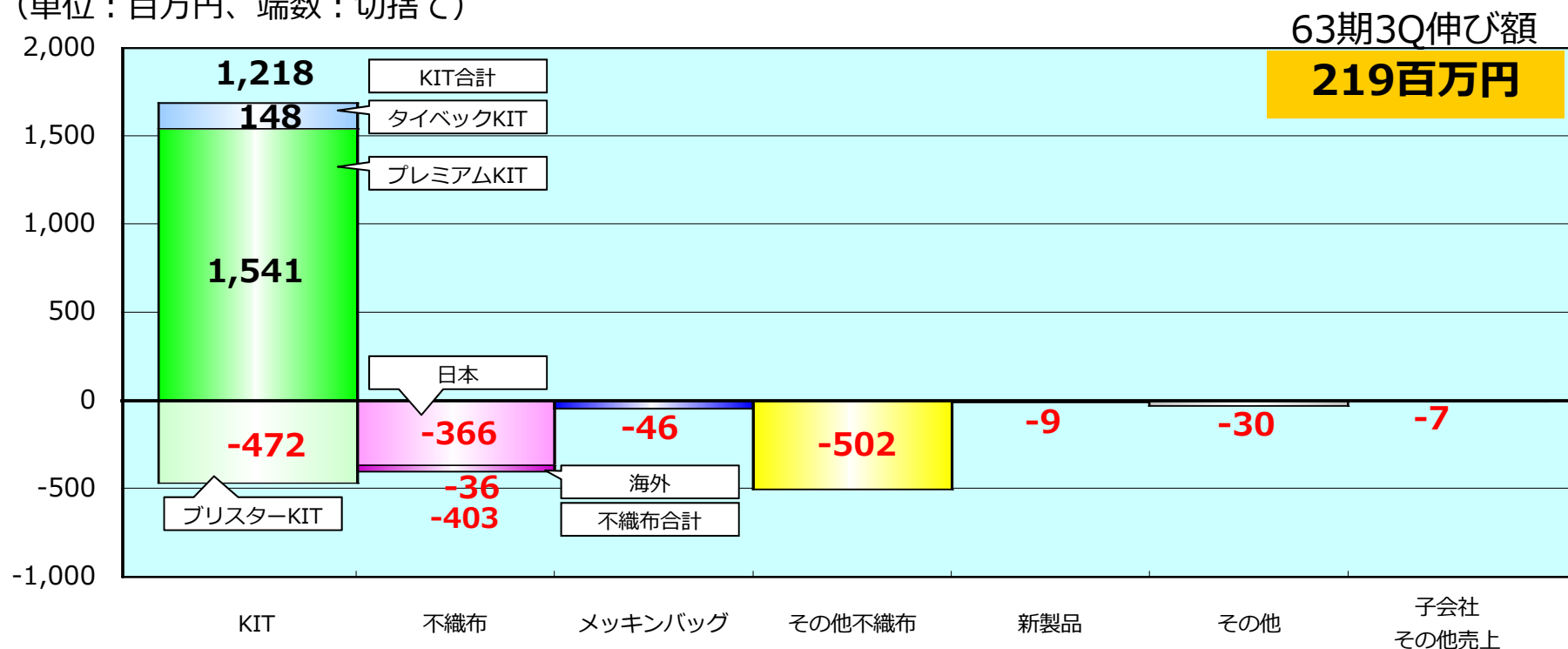
単位：百万円 端数：切捨て	22.12 62期3Q実績		23.12 63期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	29,535		29,754		219	100.7%
売上原価	17,539	59.4%	19,423	65.3%	1,883	110.7%
売上総利益	11,996	40.6%	10,331	34.7%	△1,664	86.1%
販売費及び一般管理費	6,932	23.5%	6,844	23.0%	△87	98.7%
営業利益	5,064	17.1%	3,487	11.7%	△1,577	68.9%
営業外損益	162		100		△61	
経常利益	5,226	17.7%	3,587	12.1%	△1,638	68.6%
特別損益	△0		29		30	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,710	12.6%	2,609	8.8%	△1,101	70.3%
E P S	152.97円		107.54円			

主な増減科目	前年比
見本費	62
人件費	21
試験研究費	△109
減価償却費	△75

- ・販売管理費：6,844百万円(△87百万円)
 - ✓ 人件費、見本費の増加
 - ✓ 営業活動促進に関わる費用に集中
- ・営業外損益：（営業外費用）投資運用損の発生
- ・特別損益：（特別利益）固定資産の売却益
- ・設備投資：499百万円（工場設備維持投資、販管費の合計）
- ・第3四半期累計の配当額：60円（7円増配）

第63期（2024年3月期）第3四半期累計 主な製品売上高伸び額

(単位：百万円、端数：切捨て)

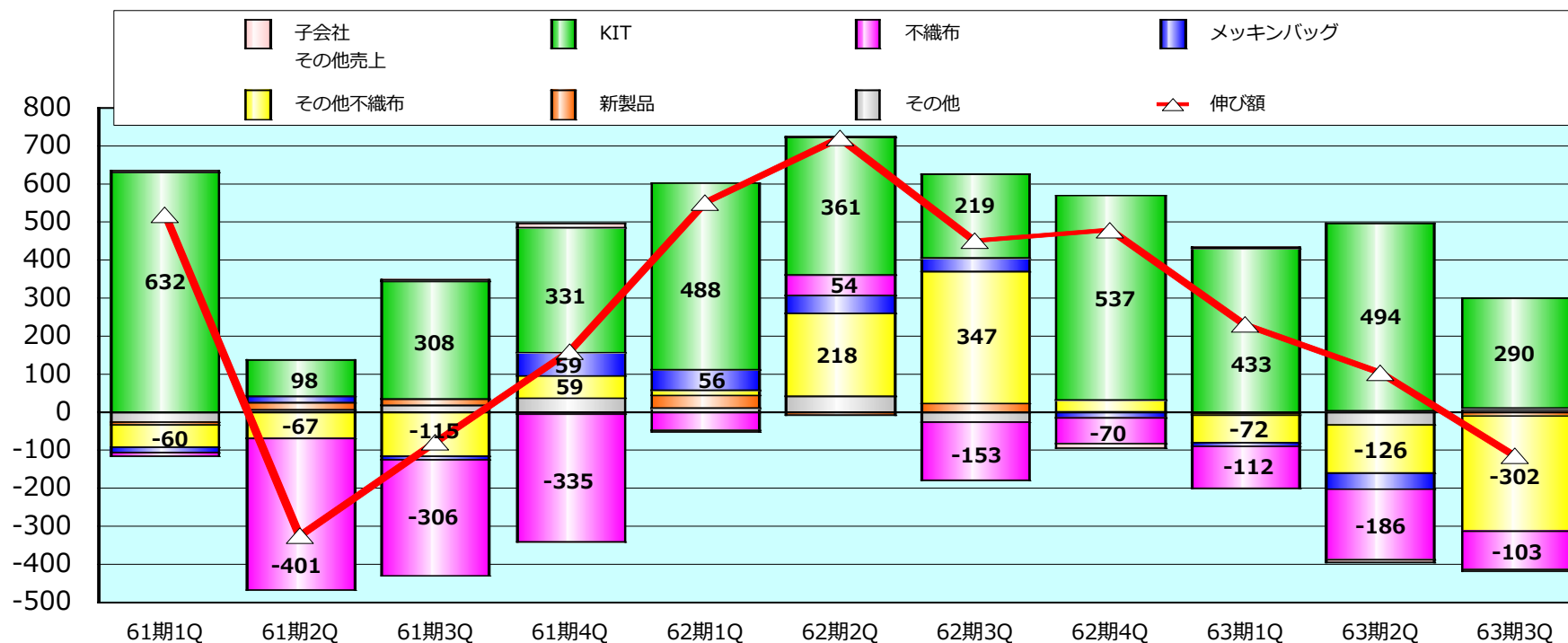


* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

- ・プレミアム：新規獲得により前年比22.6%増加、数量では19.3%の増加
- ・プリスター：プレミアムキットへの置換による数量減少が継続
- ・タイベック：前年実施の価格改定の影響
- ・不織布製品は、前年ガウン製品の価格改定を実施し、被奪回により販売数量が減少
- ・その他不織布製品は、第8波の特需の反動減

第63期（2024年3月期）四半期別売上高伸び額の内訳

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・プレミアムキットは売上拡大
- ・新規提案の長期化（施設の大型化、営業員のマインドの変化）
- ・感染防止関連製品は前年の特需の反動減

第63期（2024年3月期）第3四半期累計ポイント

■ 市場環境

- ✓ 医療従事者の人手不足は常態化
- ✓ 継続して病院経営の厳しい状態がつづく
- ✓ 医療機関での機能分化が促進（急性期充実体制加算）

■ 決算のポイント

- ✓ 新規獲得によりプレミアムキットの増売（前年比22.6%増）
- ✓ 不織布のガウンの価格改定による一部離反で数量減少
- ✓ その他不織布製品は、感染防止関連製品の需要が減少（前年度第8波の反動減）
- ✓ 新工場Ⅱ期稼働を4月に開始し、償却費が増加
- ✓ 円安の影響で原価上昇

第63期（2024年3月期）通期修正計画

第63期（2024年3月期）通期 損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	23.3 62期実績		24.3 63期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	38,981		39,200		218	100.6%
売上原価	23,241	59.6%	26,080	66.5%	2,838	112.2%
売上総利益	15,740	40.4%	13,120	33.5%	△2,620	83.4%
販売費及び一般管理費	9,105	23.4%	9,080	23.2%	△25	99.7%
営業利益	6,634	17.0%	4,040	10.3%	△2,594	60.9%
営業外損益	19		10			
経常利益	6,653	17.1%	4,050	10.3%	△2,603	60.9%
特別損益	△464		△160			
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,316	11.1%	2,760	7.0%	△1,556	63.9%
E P S	177.95円		113.70円			

■プレミアムキットの新規獲得に注力

■売上高（前年比+0.6%）

- ✓ プレミアムキット新規獲得で増収
- ✓ オペラマスターサービスの見直し
- ✓ 不織布はガウン製品の価格改定を前年実施し、販売数量は減少
- ✓ その他不織布は特需の反動減

営業の効率を高め新規活動へ集中

■原価率（+6.9pt）

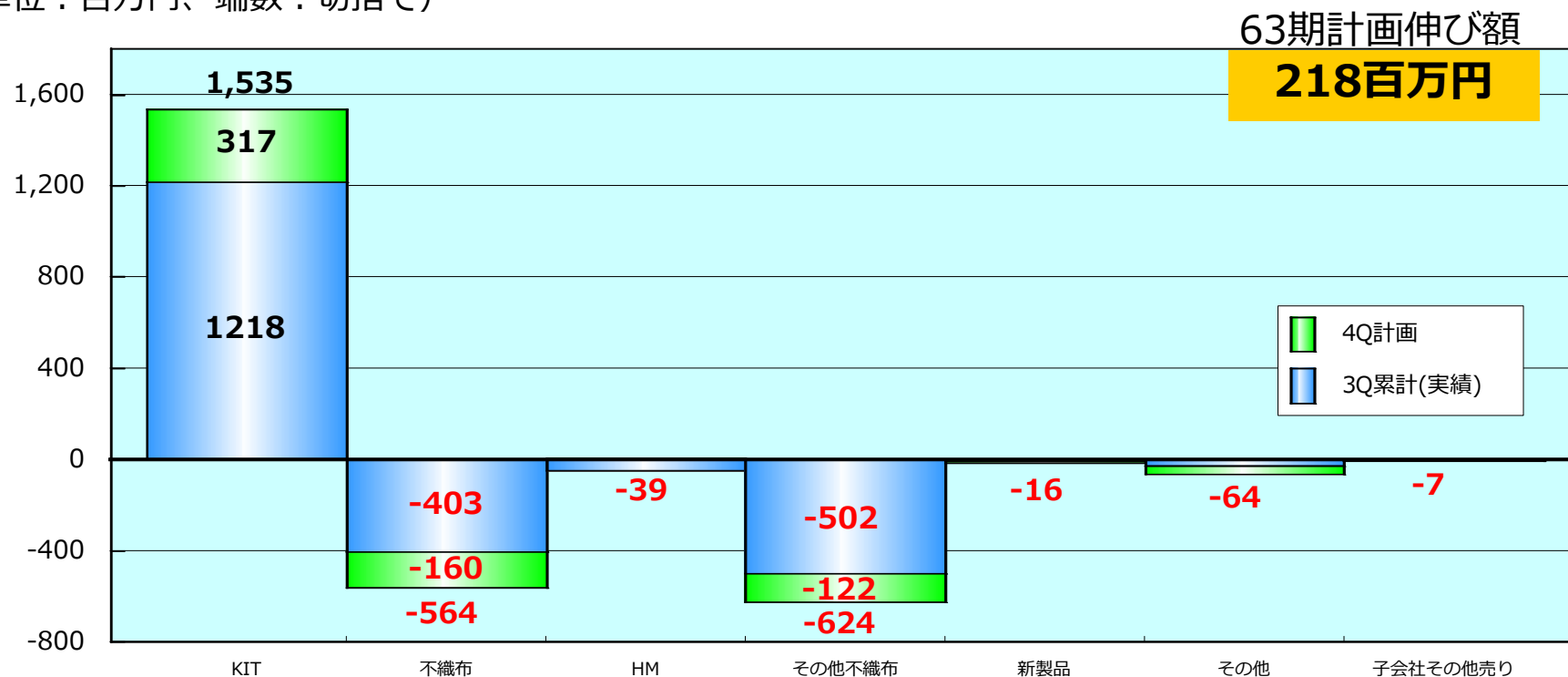
- ✓ **新工場第Ⅱ期を4月に稼働し償却額が上昇**
- ✓ **円安、原材料・資材価格の高騰が続く**
- ✓ 値上げや生産性の改善、経費節減等により原価低減を図る

■販売管理費（前年比△0.3%）

- ✓ 営業活動促進に関わる費用に集中し、その他の費用削減を行う

第63期（2024年3月期）通期 主な製品の売上高増減額

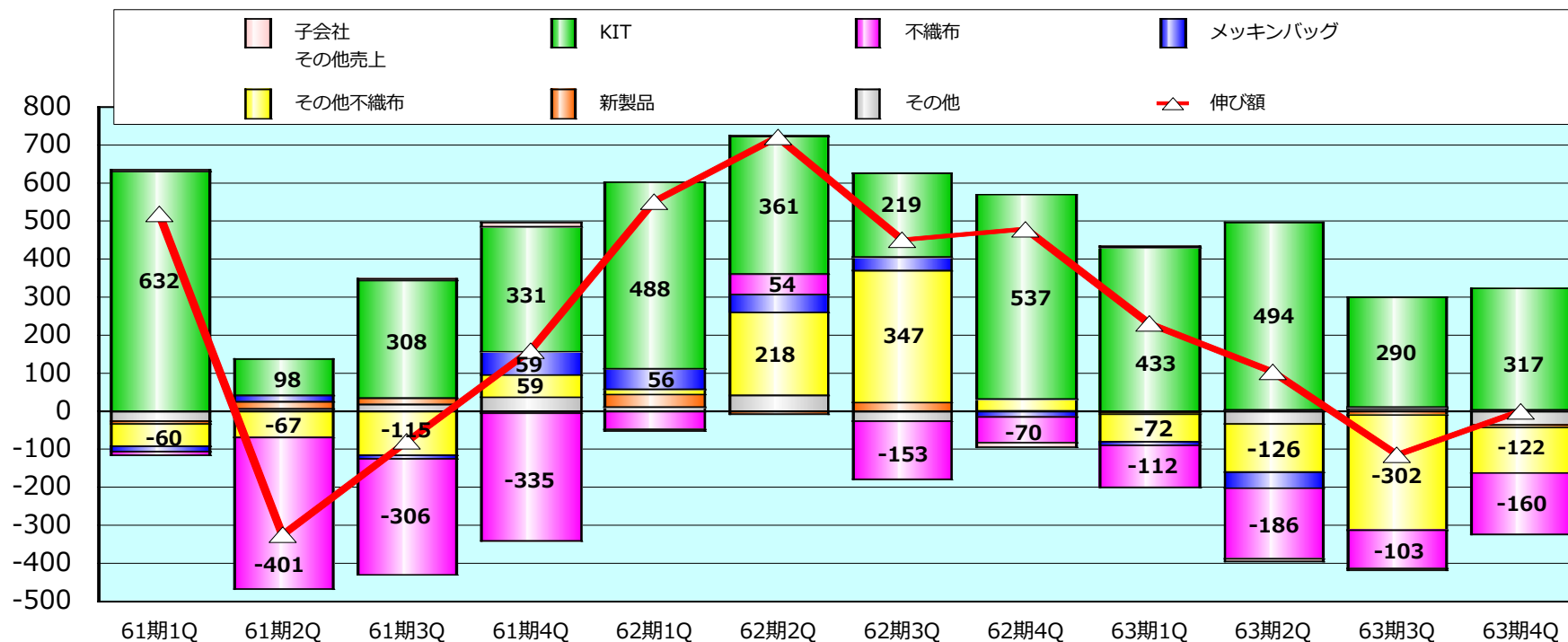
(単位：百万円、端数：切捨て)



- **キット製品**：継続して病院の経営課題に対して貢献できる「プレミアムキット」の新規獲得に注力
- **不織布製品**：ガウン製品価格改定による販売数量の減少が継続
- **その他不織布製品**：N95マスクの前年第8波の特需の反動減

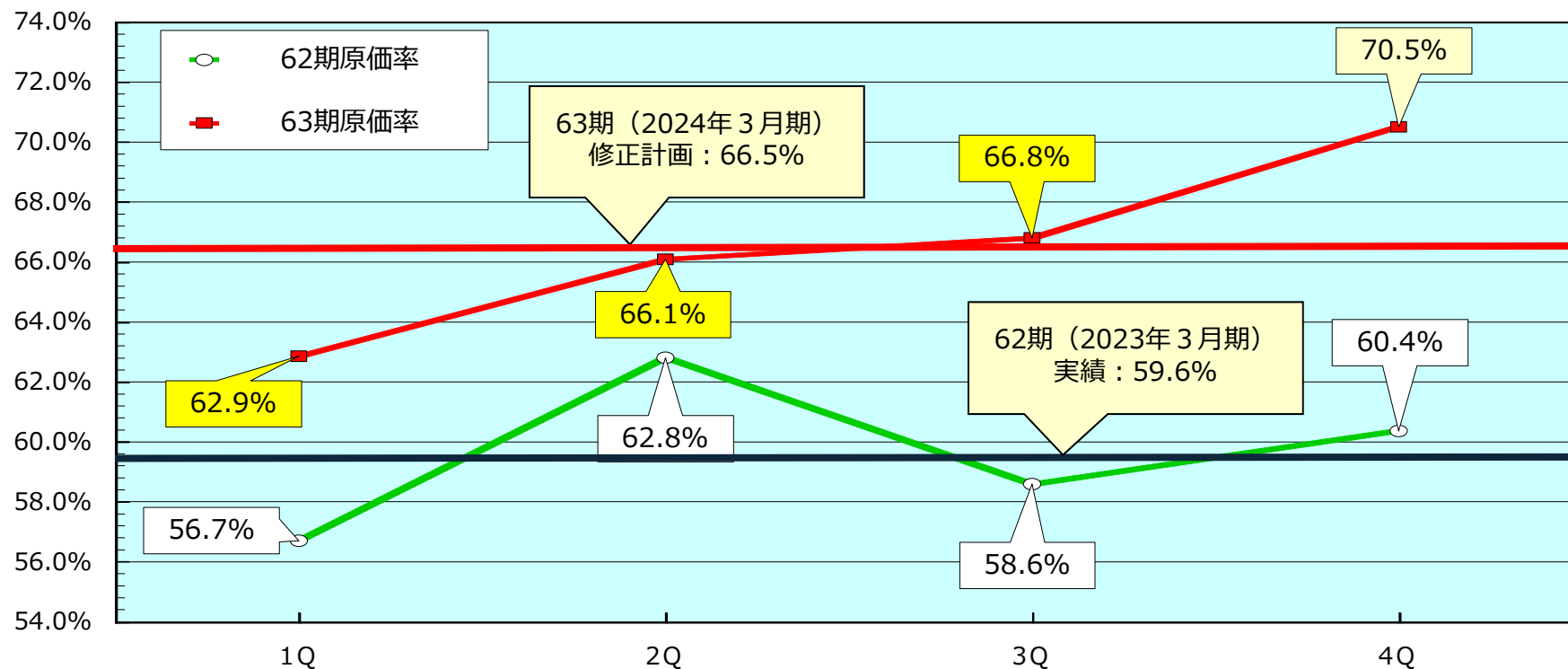
第63期（2024年3月期）四半期別売上高伸び額の内訳と見通し

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・ 営業リソースの効率化を図り、プレミアムキット新規獲得に向けた活動へ傾注
- ・ 第4四半期にプレミアムキットで一部施設での新規獲得を見込む

第63期（2024年3月期）原価率の推移



通期修正計画では原価率66.5% (+6.9Pt)

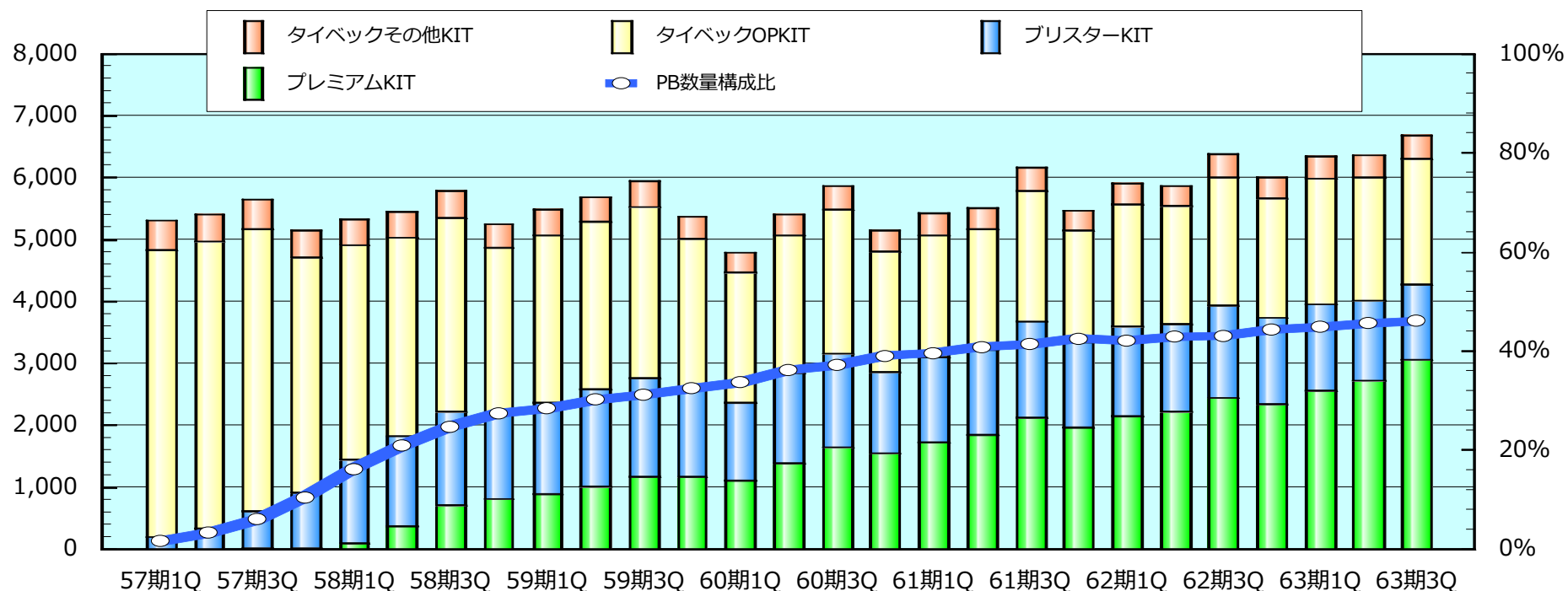
- 当初の想定と変わらず、前年からは新工場Ⅱ期稼働に伴う償却費の影響が大きい
- 第3四半期（66.8%）と第4四半期（70.5%）の原価率3.7Pt上昇のポイント
 - ✓ 為替予約がなくなったことによる影響
 - ✓ 第4四半期に一部棚卸資産の廃棄を見込む
 - ✓ 連結影響によるもの

実績の詳細

- ・ 63期販売実績の詳細
- ・ 原価率 主な増減要因

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数：切捨て)



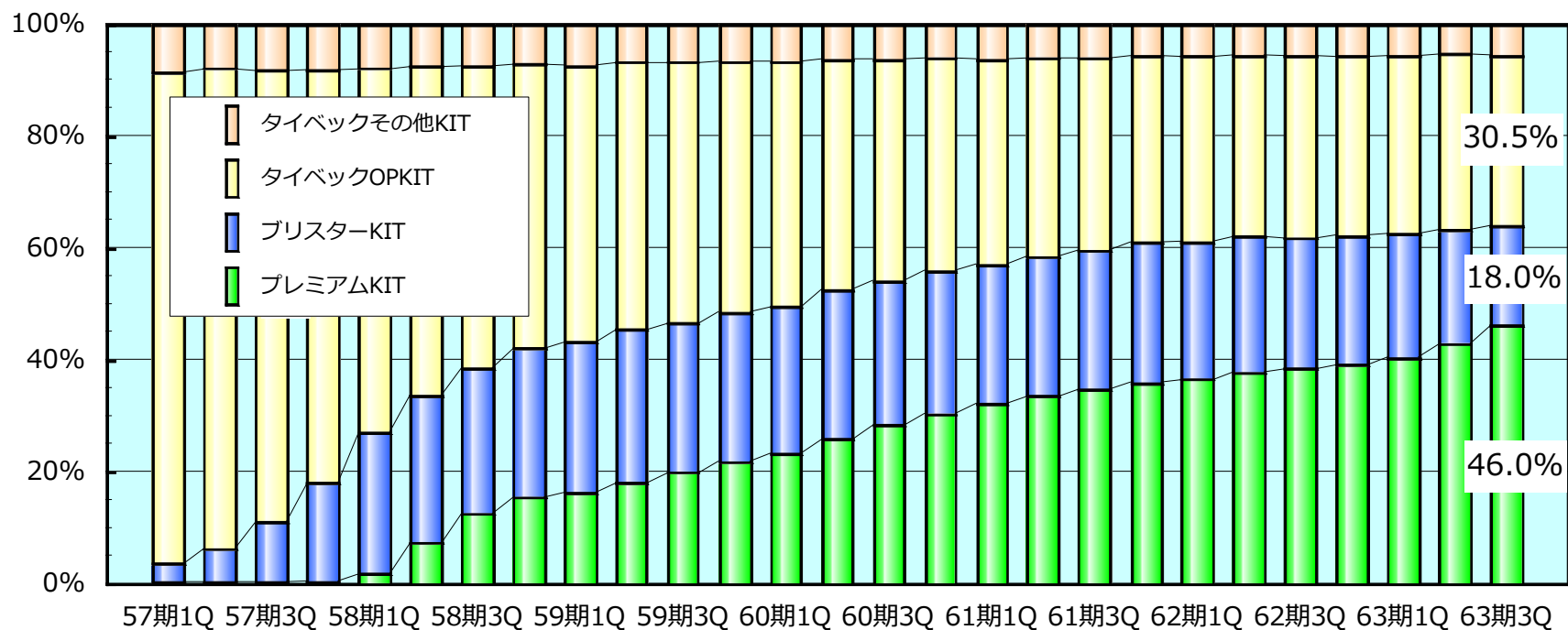
* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

・ プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとプリスターキット合計の数量構成比は46.1%となった

・ 63期第3四半期 前年同期比

- ✓ プレミアムキット : +626百万円、125.6%
- ✓ プリスターキット : △293百万円、80.4%
- ✓ タイベックキット : △41百万円、98.3%

キット製品 販売額構成比推移



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリスターキット」の合算を記載しております

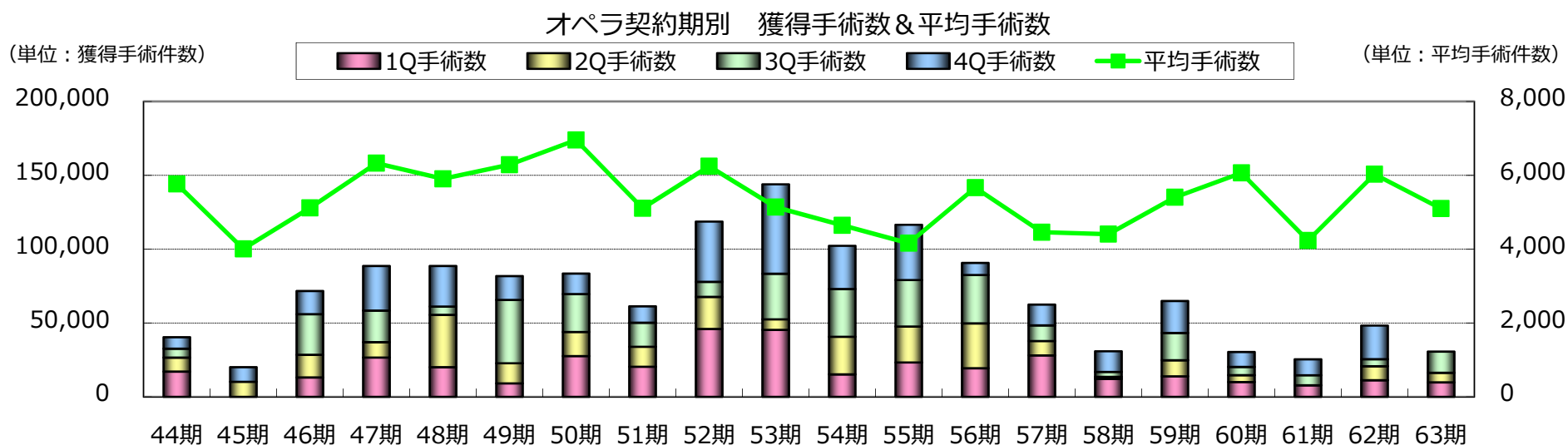
- ・ プレミアムキットの新規獲得により売上高が伸長し割合が増加
- ・ タイベックとブリスターからプレミアムキットへ置換する動きが進む

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 (KIT製品) : 12,741百万円 (前年比 850百万円 : 107.2%)

63期契約施設数 : 新規 6 施設、解約 14 施設

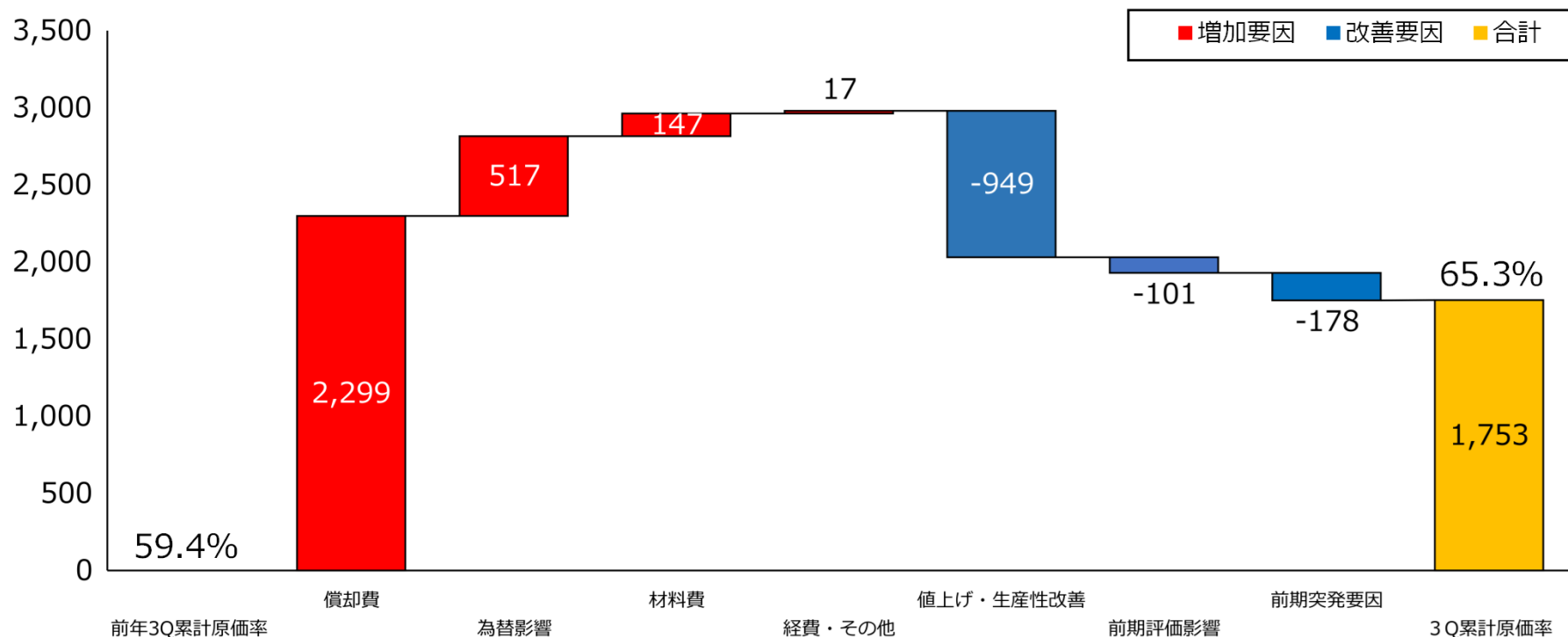
累計契約施設数 : 263施設



- 63期新規契約病院6件
(大学病院本院群 (旧 I 群) : 1件、D P C 特定病院群 (旧 II 群) : 2件、D P C 標準病院群 (旧 III 群) : 3件)
- 63期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は5,100件
- オペラマスター新規契約は患者が集中する地域の拠点病院に注力
- 顧客課題の変化に応じた新サービスのご提案により「働き方、医療の質を高める」支援に変更

第63期（2024年3月期）第3四半期累計 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・ 新工場Ⅱ期稼働を4月に開始し償却費が増加
- ・ 円安の影響により原価が上昇
- ・ 原材料、資材価格の上昇
- ・ 前年度行った価格改定の影響による利益改善

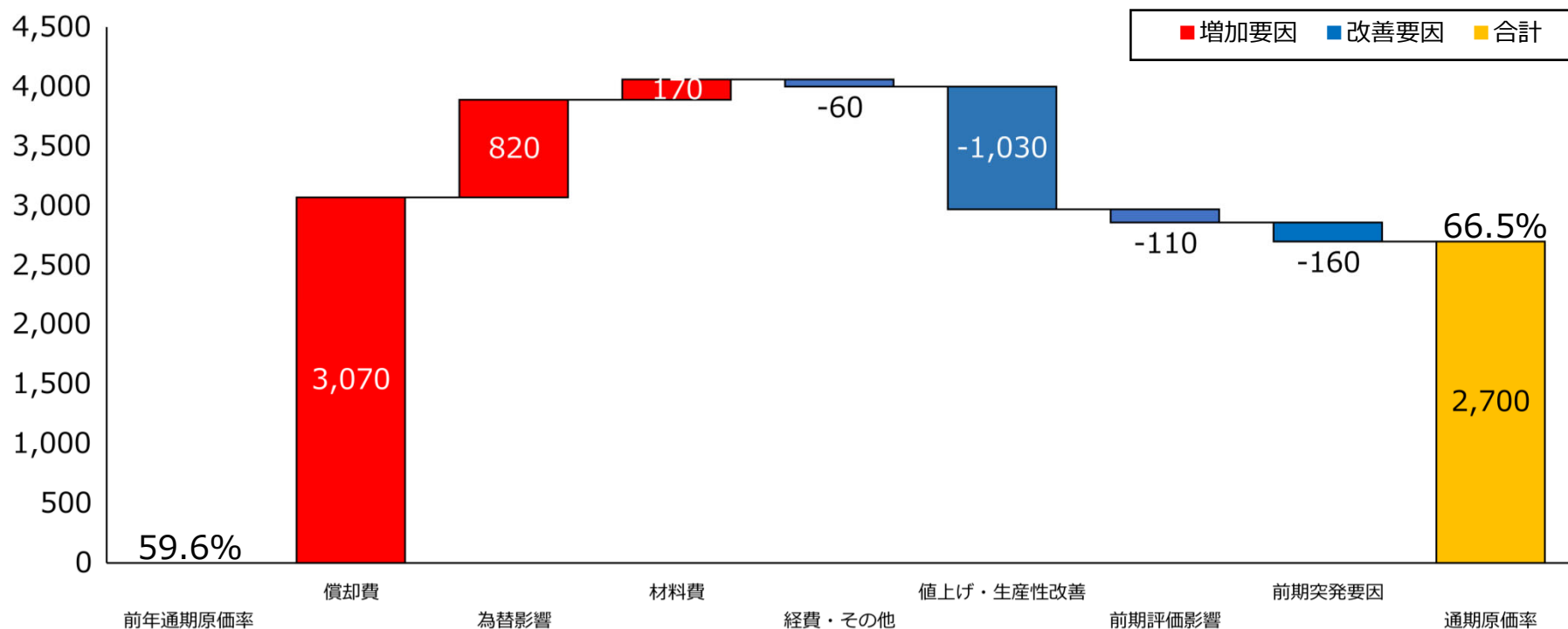
償却合計：4,964百万円（前年比：2,223百万円増）

・ 原価：4,533百万円（前年比：2,299百万円増）（内新工場Ⅱ期稼働分として2,355百万円増）

・ 販管費：430百万円（前年比：75百万円減）

第63期（2024年3月期）通期 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



通期修正計画では前年より2,700百万円の原価上昇

- ・ 第3四半期累計より為替影響が強くなる
- ・ 経費・その他は電気代の補助金の影響で改善となる
- ・ 値上げ、生産性改善の効果は漸減

償却合計：6,611百万円（前年比：2,975百万円増）

・ 原価：6,036百万円（前年比：3,070百万円増）（内新工場Ⅱ期稼働分として31億円増）

・ 販管費：574百万円（前年比：94百万円減）

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY[®]



2024年1月18日 (木)

第63期 (2024年3月期) 第3四半期決算説明会



(2023年4月1日～2023年12月31日)

取締役	管理本部長	川久保	秀樹
	経営企画部	高橋	由美子
		澤田	真緒



ご参考資料

各種キットの定義について

	プレミアムキット	ブリスターキット	タイベックキット (従来キット)
生産場所	新工場 (マルチ)		筑波、美浦
			
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにマルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と新入院患者の伸び率/日

